

# 大湾区情報 No. 67

グレーターベイエリア情報 発行：2023年9月26日



## 【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【前海でインキュベートされた香港ベンチャー企業融資額、計 29 億人民元超】](#)

[【第 8 回「一带一路サミット・フォーラム」、香港で開催】](#)

[【2023 年 フォーブス「中国消費活力都市トップ 20」、広東省が最多の理由】](#)

**【前海でインキュベートされた香港ベンチャー企業融資額、計 29 億人民元超】**



AI の発展は、幅広い産業のアップグレードにおける重要な要素です。深圳と前海は、高レベルの科学技術の対外開放に向けてゲートウェイハブを形成し、深圳－香港イノベーション回廊建設を加速する必要があります。最近、ベイエリアトーク - 大湾区企業家連盟交流会の AI 特別サロンが前海ケリーセンターで開催されました。大湾区の優秀な若手企業家の的確で、専門的なコミュニケーション、交流のプラットフォームを構築し、産業に力を与え、デジタル大湾区の発展を促進します。

---

2022年、前海における香港系企業の資本金総額は56億800万香港ドルで、深圳市全体の55.2%を占め、香港企業は1万社近くとなっています。前海深港青年夢工場は北区と中区の使用が開始され、起業スペースが4.7万平方メートルから13.9万平方メートルに拡大、378の香港起業チームがインキュベートされ、累計融資額は29億人民元以上に達しました。

「現在、前海は『前海グローバルサービスプロバイダー』計画と『6つのクラスタ地区』の建設を全面的に推進し、所得税優遇、一般政策、専門政策、クラスタ政策などが策定されてきました。そして、前海の技術革新は、深圳、香港の比較優位性を整理統合し、香港の科学技術の発展をサポートし、深圳、香港、マカオのイノベーション要素のクロスボーダー統合を促進し、香港、深圳の科学技術革新発展の統合を促進します」と前海管理局技術革新部門の責任者は述べました。

データによると、2023年4月現在で、前海には外国テクノロジー企業が3,219社あり、IBM、シーメンス、センスタイム、WeLabなどの有名な外資テクノロジー企業が前海に投資し、多国籍企業の分布、業界大手による牽引、ユニコーン企業やガゼル企業の成長加速、という産業エコシステムが形成されつつあります。その中の多くはAI分野の研究開発に従事しています。

「AIは今日、世界で最も革新的で影響力のあるテクノロジーのひとつであり、あらゆる産業のあり方を変えつつあります。この10年で、当分野は目覚ましい進歩を遂げ、学術研究から商業応用に至るまで、認知と理解から意思決定と創造へ、単一領域からジャンルを越えた統合へと移行し、無限の可能性を示しています」大湾区企業家連盟事務長の王寿群氏は、以上のように述べました。

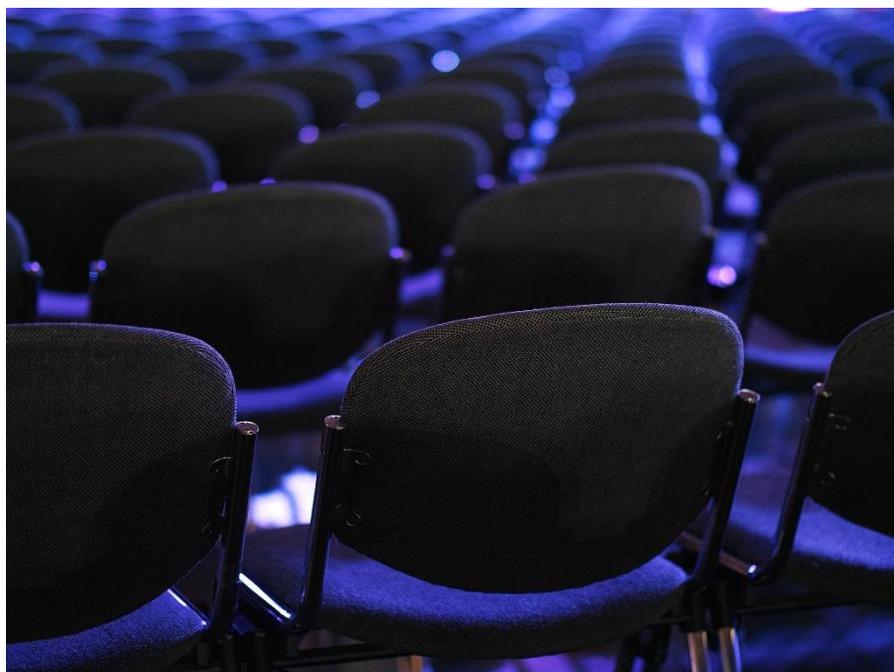
暨南大学国際関係学院の陳定定教授も、大湾区の質の高い発展の過程において、AI産業などを含む革新的な分野や地域経済発展の過渡期をいかにうまく活用するかが重要だと考えています。

「大湾区発展の原動力は、科学技術革新、AIであり、大湾区の傑出した企業家は、互いに連携してそれぞれの原動力を振るに発揮し、大湾区でAIを活用可能にするためのハードとソフトのつながりを良くする必要があります」AIユニ

---

コーン企業代表の優必選科技股份有限公司（UBTECH Robotics）の CBO 譚旻氏はこのように述べました。

### 【第 8 回「一帶一路サミット・フォーラム」、香港で開催】



9月13日、第8回「一帶一路サミット・フォーラム」が香港コンベンション & エキシビション・センターで開催されました。今年のフォーラムには、様々な国や地域から6,000人近くが登録して参加しました。フォーラム初日には、ニュージーランド、マレーシア、ベトナム、インドネシア、タイ、カザフスタンの公的機関や企業が参加し、16の覚書や協力協定が調印されました。

今年で一帶一路計画は10周年を迎えました。一帶一路サミット・フォーラムでは、香港行政長官の李家超氏が、香港は中国本土と世界の協力を拡大するための重要なプラットフォームであり、一帶一路において、貢献者としても受益者としても重要な役割を果たしていると述べました。香港は一帶一路の幅広い展望を受け入れ、内外の協力のための機能的なプラットフォームとなるよう尽力しています。

---

## 香港は「一帯一路」のスーパーコネクターになり得る

当日開催された「香港一帯一路におけるビジネス協力促進」フォーラムでは、各国や地域の企業家が一帯一路の建設に参加した経験を共有しました。

中国交通建設集団有限公司の取締役総経理の王海懐氏は、一帯一路諸国の共同建設における同グループの経験を紹介しました。パキスタンのグワダル港、カンボジアのゴールデンハーバー高速道路、マレーシアの東海岸鉄道など象徴的プロジェクトを建設しており、一帯一路に関する国家建設プロジェクトに対し3,000件以上の投資、18,000キロメートル以上の道路と鉄道を建設、900台超のターミナルの橋脚型大型クレーンを提供し、一帯一路建設における中国国有企業のコミットメントを示しています。

マレーシアのサンウェイ・グループの会長兼創業者である謝富年氏は、マレーシアにサンウェイ・シティを建設した経験を披露しました。サンウェイ・シティは、枯渇寸前の鉱山跡地に建設された総合リゾート地で、この経験を東南アジア各国で再現しています。

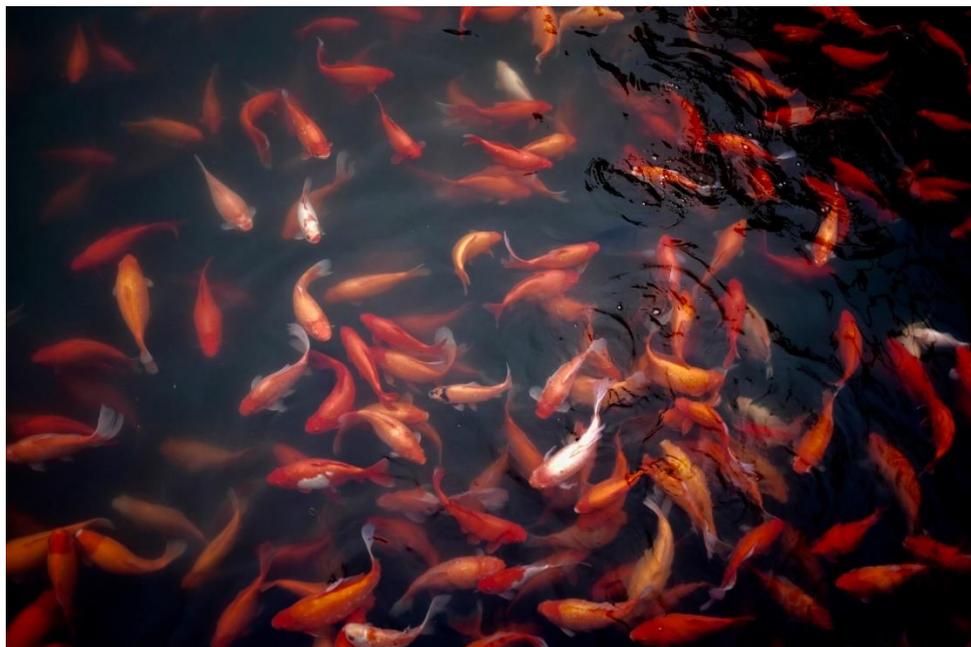
フランスのシュナイダーエレクトリックグループの趙国華会長は、香港に12年間居住し、香港の発展を目の当たりにしてきました。フォーラムで同氏は、香港は大湾区の中心に位置し、人口密度が最も高く、技術面で先進的でダイナミックな都市のひとつであり、スマートシティやグリーンシティの建設に大きく貢献できると述べました。そのため、香港は一帯一路の「スーパーコネクター」になることができる、と述べました。

趙氏は、大湾区はテクノロジー開発の世界的なハブであり、同時に製造業も発達しているため、香港は大湾区と世界をつなぐ良い役割を果たすことができ、大湾区のテクノロジーや製造業がより多くの国や地域に利益をもたらすことができると考えています。「我々はテクノロジーを使って二酸化炭素排出削減を実現しようとしていますが、これには金融セクターとの協力も多く関わっています。香港は、企業が投資し協力し合うのに理想的な場所です」と趙氏は語りました。

---

香港貿易發展局（HKTD）の林建嶽主席は、国際金融・ビジネスの中心地である香港は、中国本土と世界を結ぶ重要なゲートウェイであり架け橋であり、一帯一路沿線各国の共同開発を促進する上で重要な役割を果たすことができる、と述べました。今後、香港はイノベーションとテクノロジー、持続可能な発展などの新興産業にさらに注目し、「一帯一路」の発展を促進し、グローバル・ビジネスの機会をさらに創出していきます。

### 【2023年フォーブス「中国消費活力都市トップ20」、広東省が最多の理由】



「2023年フォーブス中国・消費活力都市ランキング」は、昨年の「国際化、消費活動、ビジネス成熟度、交通の利便性、政策支援」の5つの評価基準を踏襲し、中国本土の一級都市、新一級都市、二級都市、三級都市から、最もビジネス上活力がありグローバル化のビジョンを持つ中国本土20都市を選出しました。

広東省は最も多くの都市がランクインしており、広州市は昨年から1つ順位を上げて3位、深圳市は昨年と同じ5位、仏山市は17位、東莞市は20位と安定した順位を維持しています。

---

「過去1年間において、消費の促進は中国の安定した経済成長の重要な原動力となりました。2019年に中国の1人当たりGDPが10,000米ドルに達して以来、中国人の消費が量から質へと急速にアップグレードし、多くの都市が新しい時代におけるチャンスへの探索を進めています。都市の消費活力の変化は、地域の経済・産業発展のバロメーターとなっています」とフォーブス・チャイナは述べています。

広州市が国際消費センター都市として確立してからのこの2年間、広州市は新たな消費の活力により輝き続けてきました。昨年、広州市の社会消費財小売総売上高は1兆298億1,500万人民元に達し、成長率は五大国際消費センター都市の中で1位となりました。今年上半期、広州市の消費財小売総売上高は5,577億8,300万人民元で、前年同期比8.7%増加し、成長率は第1四半期を3.2ポイント上回りました。

一方で、若い深圳市も勢いを増し追い上げてきています。2018年、深圳市は社会消費財の小売総売上高で全国7位となり、重慶、武漢、成都などの都市に遅れを取っていました。しかし今年上半期、社会消費財の小売総売上高は初めて5,000億人民元を超え、前年同期比11.5%増となり、成都、杭州などの消費が盛んな「インフルエンサー」都市を上回り、広州にも追いつき、消費に対する市民の信頼が加速的に高まったことを反映しています。

\* 「インフルエンサー」都市：SNSにより取り上げられる要素が多く、広く注目されている都市

仏山市と東莞市では、接触型消費（飲食、文化観光、実体取引など）が全体の消費の力強い回復をもたらしました。今年上半期、社会消費財小売総売上高は仏山市1,857億9,400万人民元、東莞市2,152億1,900万人民元と、前年同期比3.5%増となりました。このうち、外食消費は仏山市14.9%、東莞市13.1%の伸びを示しました。

特筆すべきは、製造業の主要都市である仏山市では、家庭用品のマーケットが比較的活発であることです。今年上半期の小売売上高は、建築・内装装飾資材112.8%、家具30.3%、スマート家電AV機器は15.3%とそれぞれ増加しました。

---

## 「消費活力都市リスト」上位 20 都市の中で広東省が最もパワフルである理由

内側に目を向ければ、消費向上の可能性は主に産業発展の力によりもたらされています。外側に目を向ければ、消費活力の向上は都市の国際的な魅力と密接に関係しています。ランクインした広東省の 4 都市は、中国の製造業とサービス業の主要都市であるだけでなく、対外貿易や外国投資の主要都市でもあります。

広州市は産業基盤の面で付加価値 1,000 億人民元以上の 6 つの先進的な製造業クラスターがあり、付加価値 1,000 億人民元以上の 6 つのサービス業があり、「中国ブランドトレンド製品」の育成に力を入れ、デジタル経済の中核産業、インテリジェント・インターネットと新エネルギー自動車、グリーン石油化学と新素材、生物医学と健康、現代ハイエンド設備などの新たな核心産業の構築に力を入れています。

一方、深圳は 31 の主要な製造業カテゴリーを有し、基本的に、はしご型の近代的な産業システムを形成しており、製造業は GRP の 30% 以上を占めています。「20+8」産業クラスターの発展を強力に推進し、製造業が実質的かつ高度な発展を達成するよう推進しています。

また、フォーブス・チャイナでは、今年の消費活力都市選定指標において国際化の比重を高め、各都市の海外直接投資や新規外資系企業数などのデータを分析し、中国内都市の国際的な魅力を紹介しています。

国際的な魅力という観点からみると、上半期の広州市の対外貿易輸出入総額は 5,450 億人民元で、前年同期比 8.8% 増加し、成長率は第 1 四半期を 11.1 ポイント上回りました。外資活用の質は引き続き向上しており、米国アムウェイ、韓国現代自動車、フランス ZF など多くの主要外資プロジェクトが稼働、拡大しています。

コロナ禍後初めてオフラインで開催された広州交易会では、改めて広州が世界から注目されていることが明らかとなりました。第 133 回広州交易会では、200 以上の国と地域から海外バイヤーがオンラインおよびオフラインで参加し、延べ

---

290 万人以上の来場者、会場での輸出取引成約高は 216 億 9,000 万米ドル、オンライン輸出取引成約高は 34 億 2,000 万米ドルにもなりました。

深圳市も同様に好成績を収めました。フォーブス・チャイナは、対外貿易の観点から、深圳市の輸出入高は 2022 年に 3 兆 6,700 億人民元に達し、中国本土の大・中型都市の輸出において 30 連覇を達成したことを示しました。外資の観点から、中国の改革開放の最も重要なフロンティア都市の一つとして、深圳の海外投資に対する魅力は年々高まる傾向を維持しており、それが現地消費者にもより豊富にショッピング、レジャー、エンターテインメントの選択肢が提供されています。

### 【参考資料】

[・前海でインキュベートされた香港ベンチャー企業融資額、計 29 億人民元超](#)

[・第 8 回「一带一路サミット・フォーラム」、香港で開催](#)

[・2023 年フォーブス「中国消費活力都市トップ 20」、広東省が最多の理由](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、  
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。  
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====  
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所

担当: 新井 茂 <[s.arai@aoba.com.hk](mailto:s.arai@aoba.com.hk)>

=====